

日時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 14 時より

場所：校長室

次第

1. 会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 協議

(1)平成 27 年度現在までの本校の教育活動について

- ・ 第 2 回授業アンケート結果
 - ・ 普通科総合選択制アンケート結果
 - ・ 学校教育自己診断アンケート結果
- } 学校長より説明

◇質疑 –アンケート結果について

○保護者の回収率は？教員の回収率は？保護者の回収率が低いのは？HP を見ていないのか？

●保護者 57.3%、教員 100% (昨年保護者 63.8%)

●携帯連絡網(75%加入)で連絡している

「アンケートで何が変わったか」という考えの保護者がいるのでは

○保護者の満足度が 89.3%が 92.4%になっているので、回収率も上がってほしい

○保護者の回収率が低いのに驚いている

PTAの会合では“見たこともない”人もいる

○中学校のアンケートの回収率 80%以下 →80%超(昨年) →90%

HPを更新している

○小学校では、HP週 1 回更新している。回収率は中学校と同じ位。

保護者はよく学校にきている

○中学校は来る機会が少ないので、もっと来させてくれと言われる

○小・中の実践を生かしてほしい

●携帯連絡網 100%加入に向けて、加入していない人をチェックして呼びかけることを検討

○携帯連絡網の回数は？

●計 18 回 (各学年で 2 ヶ月に 1 回位)

○小学校では、東大阪市がやっているスマイルネットというのがある。他校では 100%加入。

緊急連絡が主なので、保護者に重要性を理解してもらっている。

○HP と緊急連絡とは別か？

●HP では緊急連絡流していない。

○ (アンケートで) 奨学金の説明が低いのと、前回アルバイトが多い理由でスマホのため？

と質問したときに、上の学校へ行くためのお金を貯めている生徒がいると説明があったが、その関連性は？ アルバイトの必要性は？

●奨学金説明丁寧にしたつもりだが、低かったのは驚き。奨学金返せない現状も説明する必要がある。個々で対応が変わるので、時間がかかり、待たせてしまうこともある。

○大学では学生に負債を負わせることになるので奨学金を拒否する保護者もいる。

給付型の奨学金に興味を持ってもらっている。

○本学では約半数が奨学金を利用。内、1%が給付型。有利子は返せないという問題がある。

○入学金が払えないので入学辞退、合格が決まってからアルバイトで貯める者がいる。

○本学では入学金 25 万円＋前期分約 50 万ほど必要。

○授業アンケートに関して、ある学校で、まじめに授業すれば評価が低い。レベルを下げると評価が上がったという、話を聞いた。

●”わかりやすい”の定義は難しい。

また、実技の方が座学より評価が上がる。座学により課題が多い。

(1)平成27年度現在までの本校の教育活動について（続き）

・6期生の進路状況について

12月現在－就職 28人／28人 内定

進学 短大・専門学校はほぼ決まり、4大はまだ一般に向けて頑張っている生徒がいる
看護、理学療法士など厳しい

・各分掌及び各学年の目標達成状況

教務部－早めの連絡と期限厳守を実施。期限はほぼ守られている。

コース制の説明を考えているところ

進路指導部－家庭学習肯定率目標達成

補習・講習の満足度66% 参加生徒が少ない。

進路指導の充実では、進路指導室前で行列になっていると、気が引けて相談に来ない
生徒もいる

自習室の活用が増えた。

生徒指導部－遅刻指導では、1月末現在 2920人(昨年 3563人)

最終 3200人までには収まるか(目標 3500人以下)

学習課題者 29人、延べ 63回。 遅刻常習者が増えている。

部活動では、60%超えるように働きかけ

身だしなみ指導では、埴輪ルックは今は見られない。

その他、自転車保険の義務化に伴い、現在7割の加入率を10割目指す。

交通事故が増えた。

池之島橋に立ちだしてからは、付近での学校に対する苦情はなくなり、逆に会
積をされたりする。また、自転車のマナーが行き届いていない部分があるので、
継続的な注意喚起が必要。ただ、橋周辺の道路事情が複雑なので、信号機があ
ればいい。

保健部－基本的生活習慣の改善・定着

保健委員による「保健だより」での呼びかけ、意識喚起

美化活動の改善・定着

安全点検の提出率が63.2%に増えた

各種行事を通じて、周囲との協調性を育成

保健委員会数が学年合同で行ったため減少した。

総務企画部－タイムリーな情報発信

携帯連絡網の加入率は目標の70%は達成したが、十分とはいえない。

部活動のHP更新を7月に行った
中学校への広報活動

5回で800名弱なので、あと1回で目標の800名を越しそう。

P T A活動の充実

P T A役員・委員が積極的に参加

P T A新聞、年1回から2回発行に増加

第3学年—補習、講習、キャリア教育については3年間統一されたプログラムが必要

遅刻者数、昨年度より減少したが、特定の生徒が遅刻多い（ほとんどが女子）

部活動の加入率は高かった

第2学年—進路情報の提示などで意識喚起したが、“まだ2年”という意識がある。

遅刻が激増したが、遅刻常習者に声かけをするなどで、目標の1000件を下回る見込み。

修学旅行では、生徒を中心に、自主的に行動できるよう指導できた。

第1学年—『小テスト』『生活時間帯記録表』などで学習習慣、生活の見直しをはかる。

規範意識の向上

◇質疑—状況報告について

○各学年・分掌の内容がリンクしているのか？ 各々がバラバラの印象を受けた。

教務の「専門コース」については、学校の進むべき方針の元に進めていく

（単に各教科の調整に終わらない）

進路の日々の学習・補習などは教務の仕事ではないのか？

進学講習は進路

整理された方が良いのでは？

○身だしなみ指導で、女子の化粧はどうか？

●禁止はしていないが、写真撮影やプールの時は×

口紅が目立つように思う ●検討します

○昔は 化粧なし→リップ→リップに色→… なかなか止められない

○遅刻も女子が多いのは、風紀の乱れにつながるのでは？

●入学式の時にピアス禁止、化粧禁止と言ったが…

●現段階では、頭髪指導に力を入れている

○小学校のいろいろな行事に協力してもらった。弱い子、幼い子を大切にしている等、いいところもっている。人権が低いのは、進路プログラムのように計画化しては。

家庭学習は小・中・高の課題 →手をかけなければならない

アンケートの高いところ<生徒の様々な相談に親身になって応じている 87.3%>で、先生方ががんばっておられますね。

○いいところを伸ばしていくことが大事

○交通事故が増えたのは？

●自転車とバイク・車との接触。

○中学校訪問に関して、私学では塾の訪問などを行っているようだが。

○中学校は評価などで困っている。塾についてはよくわからない。

●塾は高校の情報をほしがる。塾の影響力は強い。

○中学校の指導で、“塾は受けていいよ”といわれた。

点数だけで行くのではないよと指導している。

(2)28年度学校経営計画について

- ・校長より、昨年度との変更点を中心に説明。
- 中学校で、英語にアクティブラーニングを取り入れた。
目標、流れ、評価を明示し、目標をしっかり説明すると、生徒に課題をさせたときに一生懸命にやる。
評価基準も知らせるとがんばってやる。

(3)全体を通して意見交換

- PTA活動が増えたことを喜んでいる。
- 先生方の変さがわかった
- 池之島橋の状況については、地域の問題として考えたい。
- 地域の学校として協力していきたい。自尊感情を育てていくことでがんばっているのも、みどり清朋高校もがんばってほしい。
- 携帯連絡網、いい取り組みなので、HPと連動されると今以上の取り組みになると思う。
- “いいところを見つける”は、いい言葉なので、いいところを引き出すようにしていきたい。

(4)平成28年度の学校協議会予定について

予定－6/10、10/6、2/6

(5)その他

(6)事務連絡等